

世界市民をめざして
- Be a World Citizen -

院長 中道 基夫

ご入学おめでとうございます。皆さんを心から歓迎いたします。

関西学院は、「Mastery for Service」を体現する世界市民」を育むことを使命としています。この使命を達成するために、皆さんに聖書に出会っていただきたいと願っています。それは、皆さんがこれから学ばれる最先端の知識と聖書との連続性が世界市民の育成に大きな役割を果たすからです。

こんなことを考えたことがあるでしょうか。なぜ雷が鳴るのか。なぜ太陽が現れるのか。なぜ人間は生まれ、そして死ぬのか。古代社会では、そのような数限りない謎を解明するために神話が語られ、人々はその謎を神の働きとして納得していました。聖書もその影響を受けています。しかし、自然界の事象が科学的に解明されるに従って、もはや神の意志や力という言葉を使わなくても、その仕組みを科学的に理解し、人間はそれを少しばかり自由に扱えるようになってきました。もはや雷を神の怒りの声と理解する人はいないでしょう。

聖書や神話がまったく意味のないものになったわけではありません。また逆に最新の科学がすべてを解明したわけでもありません。なぜなら神話は天体や生命の仕組みだけではなく、その意味を問題にしていたからです。現代の科学において命の誕生の仕組みは分かっても、自分の命や愛する人の死をどう理解してよいかは分かりません。雷や天体の仕組みは理解しても、自然災害をどのように受け止めてよいか分かりません。この答えられない部分を含めて、神話は世界の謎に向かっていたといえます。その全体的な知の一部分が科学によって解明されたわけです。神話か科学かを二者択一的に考えるのではなく、ぜひこの神話から最新科学へ至る連続的な知、全体的な知に目を向けてくださることを願っています。

関西学院で聖書から現代の科学に至るまでの知の連続性を学ぶことによって、より深い人間理解、世界理解を身につけてください。それが「Mastery for Service」を体現する世界市民」を育む力です。

*「風に思う」 関西学院 院長室からのメッセージ 第18回：

<https://youtu.be/yjFNfWsdOxM>